令和５年度　園経営計画　足立区立千住あずま保育園

園長 阪本　孝子

１　園の経営目標

・保育目標　「すくすく育て あずまっこ」
　笑顔あふれる園生活を通して　健康な身体　豊かな心　考える力 を育てる。
・人への信頼感を育み乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を通して、保育の質の向上を図る。
・保護者や地域の子育て支援の拠点園として、子どもの育ちを支える。

２　園の現状

・子どもたちは室内外でのびのびと身体を動かし、自分のやりたい遊びを選びじっくりと遊んでいる。また、一年を通して自然物に触れ、試したり工夫したり、体験を通して学び合う姿がある。
・保育者は子どもの人権について園内研修で学び合いながら、一人一人の思いに応答的にかかわり、子どもの主体性を大切にした保育を行っている。
・保護者はコロナ禍が続く中、衛生面や健康管理に努めてくれている。また、園からコドモン等を通じて発信している教育、保育内容に関しても理解があり、園運営に協力的である。

３　今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－１	一人一人の思いを受け止め、子どもの自己肯定感を育む
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・生活や遊びの中で、子どもが自己発揮できる環境を作る。	・子どもの個性や発達を尊重し、ありのままの姿を受け止めて安心感の中で過ごせる環境を作る。 ・自分を大切にし、他者を大切に思う心を育てる。
・一人一人の人権を尊重した保育を行う。	・全職員で人権にかかわる園内での研修を年 2 回以上実施し、保育の具体的場面における保育者の関わりを学び合い人権感覚を磨いていく。

重点的に取り組んでいきたい事項－２	子どもが主体的に環境とかかわる中で、豊かな感性を育む
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・自らあそびを選び、試したり考えたりする子どもの思いを大切にする。	・子どもの姿、対話から子ども理解を深める。 ・「何だろう」「やってみたい」と興味関心が広がる遊びの環境を作っていく。
・四季を通して自然とかかわって遊べる環境づくりをする。	・年間を通して自然物と関わり、見て触れて感じる子どもの気づきに共感し、子どもが存分に遊び込める時間や場、教材を準備する。

重点的に取り組んでいきたい事項－３	身体を動かす遊びが好きな子どもを育て、運動習慣の向上を図る
具体的な取り組み	
項　　目	具体的な内容
・子どもの興味や意欲を引き出す環境を作る。	・子どもの発想や工夫を遊びに取り入れながら楽しい運動遊びを継続して行っていく。 ・思わず身体を動かしたくなる環境の中で、大人も子どもと一緒に思いきり身体を動かして遊ぶ。
・年齢や発達に合う多様な動きを取り入れた運動遊びを行う。	・それぞれの発達に応じた多様な動きや、遊具や用具を使った遊びを行いながら子どもの発達を見通した運動遊びを実践していく。 ・学びや気づきを園全体で共有し運動習慣につなげていく。